

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	研究交流促進事業の推進			担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	産業連携・地域振興課		産業連携・地域振興課長 池田 一郎
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文部科学省設置法第4条第45号 文部科学省組織規則第51条第6項			関係する 計画、通知等	○第6期科学技術基本計画(令和3年3月26日閣議決定)		
政策	7 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策			主要経費	科学技術振興費		
施策	7-1 価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-02.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	筑波研究学園都市に集積された研究機関や大学等の研究者が利用する共同施設として国際会議場、会議室を提供し、研究環境を整備するとともに、研究者が交流する場の形成を企画することにより研究交流の促進を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	研究交流センター共同利用施設の利用の促進を図るにあたり、web等を活用した新しいスタイルの会議(オンライン会議、ハイブリッド会議)に対応できるように施設の環境の整備を行う必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	筑波研究学園都市における研究交流の促進を図るため、以下の業務を行う。 ・研究交流センターの共同利用施設(国際会議場等)の運営、設備の保全、警備、清掃業務 等 ・関係機関との連絡調整、研究交流に係る会議等の開催 等						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/kouryucenter/index.htm						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	50	50	50	50	50
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	50	50	50	50	50	
	執行額(G)		48	42	48		
	執行率(%) =(G)/(F)		96%	84%	96%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		96%	84%	96%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	科学技術・学術政策推進費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	(目)	庁費	49	49			
	(目)	情報処理業務庁費	1	1			
	(目)	職員旅費	0.3	0.3			
		その他	▲ 0	▲ 0			
	計(A)		50	50			

活動内容① (アクティビティ)		研究交流センターにおける共同利用施設の提供及び研究交流の促進									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		研究交流センターの共同利用施設を利用した研究交流シンポジウム等の開催を通じて研究交流の促進を図る。	研究交流シンポジウム等の開催回数 (各研究機関等に係る横断的な研究交流シンポジウムの開催や研究集会等の支援を行う。)	活動実績	回	1	3	18	－	－	
				当初見込み	回	9	9	9	9	9	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	筑波研究学園都市に集積された研究機関や大学等の各研究機関等に係る横断的な研究交流シンポジウムの開催を通じて研究交流の促進を図ることにより、各研究機関等からの研究交流センターの共同利用施設利用の更なる増加が期待できる。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		研究交流センター共同利用施設の利用数を前年度以上とする。	研究機関や大学等による利用実績	成果実績	件	263	30	167			
				目標値	件	637	263	30	167		
				達成度	%	41.3	11.4	556.7			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	筑波研究学園都市に集積された研究機関や大学等の各研究機関等による研究交流センター共同利用施設の利用が増加するにあたり、研究交流が切れ目なく続く必要があるため、これまで利用してきた会議体による利用数の増加を目指す。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度		
		研究交流センター共同利用施設を利用した会議体のうち、過去5年以内に利用したことのある会議体の施設利用数(リピート数)を前年度以上とする。	研究交流センター共同利用施設を利用した会議体のうち、過去5年以内に利用したことのある会議体の施設利用数(リピート数)	成果実績	件	244	19	61			
				目標値	件	586	244	19			
				達成度	%	41.6	7.8	321.1	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

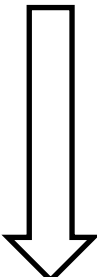
[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
48百万円

情報処理業務庁費: 1百万円
庁費: 47百万円 } を含む

共同利用施設の管理・運営等業務や施設の
修繕を行っている



請負【一般競争契約(最低価格)】

A. 民間企業等(全5法人)
18百万円

国との請負契約に基づき、施設の電力供給、清掃・
管理業務、植栽管理業務及び機械警備保安業務等
の運営業務等を行っている。

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	研究交流センター施設の電気および機械設備等の保全管 理業務	6			
計		6	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

